

潜在的酸性硫酸塩土壌の土壌pHの推移

福島県農業試験場冷害試験地
平成15～17年度試験成績概要

1 部門名 農業環境－農業環境－土壌型
分類コード 11－01－09000000

2 担当者 矢島豊・手代木昌宏

3 要 旨

酸性硫酸塩土壌地帯の水田を畑地転換した場合における土壌pHの酸性化動向を追跡調査した結果、以下の知見を得た。

（1）作土層付近の土壌pHは、転作初年目の作期中に最大pH4.6程度まで低下し、転作年数を経ると土壌pHの低下速度は速まる傾向にある。

（2）しかし、作期中に低下した土壌pHは、積雪期間を経ることにより転作開始当初に近い水準まで復元する。

（3）単年生、浅根性作物（ソバ、ダイズ等）は、4月当初において「採取直後の土壌pHが5.0以上」の場合、酸性障害発生の危険性は低い。

（4）多年生、深根性作物（アスパラガス等）は、4月当初において「採取直後の土壌pHが5.0以上かつ酸化処理後の土壌pHが4.0以上」の場合、酸性障害発生の危険性は低い。

4 その他の資料など

平成15年度福島県農業試験場試験成績概要